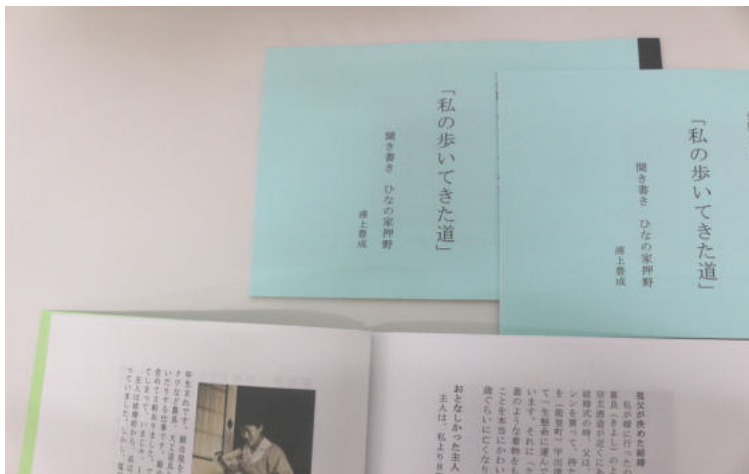


ひなの家押野通信第4号

「聞き書き」の取り組みスタート 自分の歴史を文字に託す



完成した「聞き書き」第1号

ひなの家押野では、利用者の方が生きてきた足跡を本人から聞いて文字にした「聞き書き」の取り組みを始めました。「聞き書き」とは、自分だけが歩んできた歴史、すなわち「自分史」です。待望の1号がこのほど出来上がりました。

第1号出来上がる

「聞き書き」は本人から何回も話を聞いてまとめます。時間をかけて少しずつ話を聞いていきます。ゆっくり

ひなの家 押野
野々市市押野1-31
電話076(287)5810

くり昔を思い出してもらいます。B5判の縦書きで冊子を作成します。思い出の写真も載せます。第1号は本人や家族からとても喜ばれました。現在、2号、3号も制作中です。

人生の足跡残す

「自分史」

「自分史」は何も有名な人に対象とするものではなく、誰でも誰からもうらやましがられる人生を送ってきた人もあれば、平凡だったりと「苦労ばかりだった」と振り返る人もいます。どれも大切な人生。それぞれ自分だけのいきさまがあります。家族に話していかないエピソードもあるでしょう。

自分の人生の足跡を残しましょう。スタッフが話を伺い、まとめます。ご希望の方はスタッフにお声をかけてください。



一服を楽しむ ひなまつり茶会

ひなまつりの3月3日、ひなの家押野でお茶会を開きました。茶道裏千家をたしなむことがある利用者が中心となって、お茶をたてました。

まず、利用者やスタッフ

が和菓子を楽しみました。次いで利用者がたてたお茶を、ほかの利用者が次々と飲み干し、写真、「結構なお点前でした」と口をそろえて言いました。お茶会の後、童謡「うれしいひなまつり」をみんなで合唱、楽しいひとときを過ごしました。

ニューフェイス

棚田あさみさん
(たなだ・あさみ)

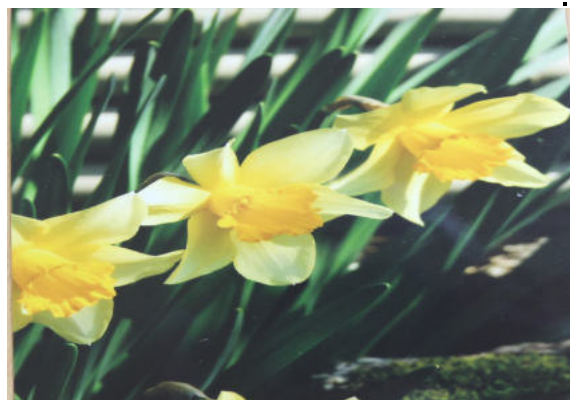


【出身】小松市
【経歴】メーカーの貿易事務などを経験後、1月実務者研修を修了。3月1日付で、スパリゾートに入社し、ひなの家押野に配属。
【抱負】人と接する仕事をしたいと思つて介護の世界に入りました。利用者の方に寄り添える人になりたいと思ひます。

【趣味・特技】旅行が好きで、これまでに海外13カ国を訪れました。好きな国はアイルランドで、英語の勉強がてら、1年間暮らしました。

四季を撮る 小野治郎写真館①

今月のテーマ: スイセン3兄弟



仲良く咲きほころぶ3本のスイセン。その姿はさながら「スイセン3兄弟」。けなげに力いっぱい咲いている。10年前に自宅のプランターに植えたのが、今でも咲き続けている。スイセンは冬から春にかけて咲き、桜の開花へとバトンタッチ。春本番がやってくる。(おの・じろう カメラ歴50年以上のアマ写真家。ひなの家押野利用者。野々市市在住。81歳)

有意義に時間を使い、根気よく絵を削る

スクラッチアートに熱中する駒井さん

ひなの家押野の利用者、駒井禮子さん(77)は、ホームに入所した1年半前からスクラッチアートに打ち込んでいます。作品にもよるが、だいたい1週間に1作品を仕上げます。「スクラッチアートは私の生きがい」と熱の入れようです。

楽しくスクラッチアートに取り組んでいました。駒井さんもホームの職員に勧められ、スクラッチアートを始めました。昔から細かい作業が得意だったので、すぐに没頭しました。

最初ははがき大から始め、A4、B4サイズと大きな作品にも挑戦しました。テーマは、風景や動物、漫画キャラクターなどいろいろ。特に風景画好きで、最近では江戸時代の浮世絵「東海道五十三次」を模した作品に取り組みました。

駒井さんはホームに入所したとき、数人の利用者が

かなり細かい描写でした



スクラッチアートに熱中する駒井禮子さん

が、とても面白かったそうです。「根気がないと、なかなか続きませせんよ」と笑います。スクラッチアートをやるのは、今はホームで一人だけで、ちよっぴり寂しそうです。

駒井さんは「ホームに入ると、時間がたつぷりあるので、時間つぶしにやってみただけ、引き込まれた。有意義に時間を使えるし、ボケ防止にも役立っています。もっと大きな作品もやってみたいですね」とやる気満々です。

スタッフ紹介 「元気いっぱい」 ④

介護福祉士 貝塚 和子さん



しゃきしゃきの貝塚和子さん

パートで歯科医師の受付をしていた32歳のころ、「もっと社会に関わりたい」とハルパー2級を取得した。いくつかの介護施設を経て、40代に入り、野々市市の病院で介護の技術をしつかり学んだ。しかし、病院では、患者が、退院後、どうなっているのか心配が募る。病院での介護に限界を感じたころ、開設準備を

高年齢者の時間を大切にする介護を

声をかけた高年齢者が次の日には「はじめてなっていたことを何度か経験。高年齢者には「あした」という時間かとても貴重な。「高年齢者の時間を大切にしたい」と意気込む。旅行が好きだ。「海外では、言葉が通じなくても身振り、手振りでコミュニケーションできる。介護の世界で、心を閉ざした高年齢者がちよつとしたことで笑顔を取り戻すことがある。旅と介護はここか似ている」。

【NEWS】

○野々市市の学童保育クラブ「たちのクラブ」の児童たちが描いたツバキの水彩画8点がロビーに展示されている(写真①)。

みを増したよう。利用者はポップコーンをほおぼり、鑑賞。(4日、写真②)

○ロビー入口に利用者やスタッフのピンクの手形の「木」が張り出され、満開の桜のよう。手形は約50枚。(写真③)



写真①



写真②

写真③

◎ 編集後記

金沢地方気象台が3月26日、桜の開花宣言が出しました。昨年より、6日、平年より9日早いそうです。暖冬のため、開花が早まっているそう。喜んでいいのか、異常気象を心配すべきか。通勤途中、桜並木が日に日にピンク色に染まってきました。新型コロナウィルスで騒然とする世の中、ちよっぴり桜は心ませませます。(浦上)